

EV用ワイヤレス給電の技術動向と今後の課題

日時
2018年 2月28日 (水)
10:30 ~ 16:30

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円
案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線 (緩行線)
地下鉄東西線 (A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

講座の概要・POINT

ワイヤレス給電の各種方式の原理、その得失を述べ、EV用として使える方式について詳しく説明します。現在一番多く使われている磁界結合式の特徴についてデモ機を使って説明します。そのうえでEV用および実用の域に入っている電気バス用のワイヤレス充電の動向についてビデオを交えて解説します。

ワイヤレス給電の課題として安全性、標準化および設置と運用において考えなければならない点を解説し、関連して大電力化への対策として日本でも来年から設置が始まるパンタグラフ式の電気バスについても紹介します。今後の方向性として走行中給電の内外の動向およびワイヤレス給電の市場規模について解説します。

講師 高橋 俊輔氏 (元)昭和飛行機工業株式会社
早稲田大学 電動車両研究所 電動車両研究所 招聘研究員

内容

- ワイヤレス給電システムとは
 - ワイヤレス給電の必要性
 - ワイヤレス給電システムの種類
- EV用ワイヤレス給電システム
 - 従来のワイヤレス充電システム
 - 最新のEV用ワイヤレス充電の動向
- バス用ワイヤレス充電システム
 - 日本でのWPT付きEVバスの開発
 - 早大でのEVバスの開発
 - 電動車両での運用試験
 - 早大でのその他のワイヤレス給電車両
 - 欧州でのワイヤレス充電電気バス
 - 中国でのワイヤレス充電電気バス
 - 米国でのワイヤレス充電電気バス
 - ワイヤレス給電キャパシタバス
- ワイヤレス給電における課題
 - 安全性への課題 電磁波の課題 異物侵入への課題 誘導加熱への課題
 - 標準化などの課題
 - 道路上設置の課題
 - 正着性への課題
 - 大電力化への課題 接触式超急速大電力充電システム
- 今後の方向性と市場
質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 EV用ワイヤレス給電の技術動向と今後の課題

セミナーコード

1101-180228

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/2/28 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				